

令和2年度 学校評価結果報告書

学校法人みどり学園
認定こども園かみみね幼稚園

令和2年度の学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すよい機会となりました。

また、それぞれの評価結果については、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる幼児活動の充実、教育環境の整備や教職員の資質向上に努めてまいります。

I.教育目標

真の自立を目指し、自ら考える力を育てる

1. 明るくのびのび活動する中で、丈夫な心と身体を育て、楽しく友達づくりをする。
2. 個々の違いを認め、思いやりの心を育てる。
3. 年齢の異なる子ども達と一緒に遊び、親しく交わる。

II.今年度の重点課題

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

III.評価項目と取組み状況

自己評価項目		前年評価	本年評価	
1	教育方針・目標	教育方針・目標は、園の特色を生かしたものになっている。	B	A
2	指導計画の作成と評価	短期の指導計画は園児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている。	A	B
3	教育内容の保護者への周知	園の教育・保育のねらいや内容について、保護者に分かりやすく伝えるよう工夫している。	B	B
4	教育環境の構成	園児が身近な自然や社会との関わることを通して学ぶ環境を整えている。	B	B
5	園児のみとりと理解	園児の理解のために保護者と話し合う機会をもっている。	B	A
6	指導と関わり	園児が自ら考えたり、工夫したりできるような見守り方をしている。	B	A
7	教職員同士の協力・連携	指導上配慮を必要とする園児については、教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって対応している。	B	A
8	研修・研究への意欲・態度	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている。	B	A
9	研修・研究への取組み	療育専門機関と連携を図りながら、障がいのある園児に対する保育のあり方について研修・研究を行っている。	B	B

10	安全管理体制の整備	事故の発生を未然に防ぐために、園内の危険箇所や危険な遊び方などについて、教職員間での話し合う仕組みが機能している。	B	B
11	情報の発信と受信	保育中の怪我や病気は、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因を説明の上、通院するなどの対処をしている。	A	A
12	協力と支援	保育参観や保護者懇談会などを開き、子どもについて、保育について家庭でのあり方について、共通理解を得るよう取り組んでいる。	A	B
13	守秘義務の遵守	個々の子ども、保護者、ご家庭の情報は口外していない。	A	A
14	地域の人々・自然との関わり	地域の人々や地域の自然との関わりを指導計画の中で位置づけ活用している。	B	B
15	地域への開放と支援	園がもつ専門的な技術や情報を、地域に開放・提供している。	B	B

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である